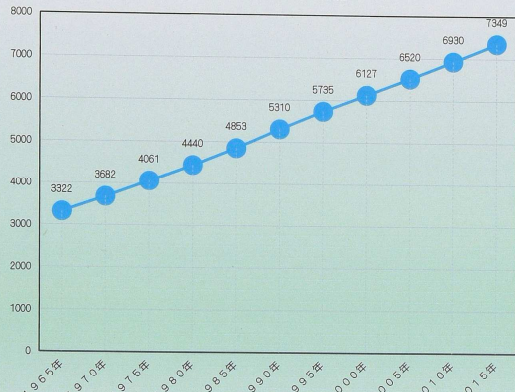


人口問題

まずは山梨県に人を増やそう!

人口 (100万人) 世界人口の推移



①
まずは世界の人口を調べてみた

20世紀以降の人口増加が著しく、現在では70億人を突破していると推計され、今世紀末には100億人に達すると見込まれている。「人口爆発」ともいわれるこの問題は、食料や水、エネルギー等のさまざまな不足をもたらすことが予想される。

総務省統計局 世界の統計2016より



人口 (千人) 日本の人口の推移

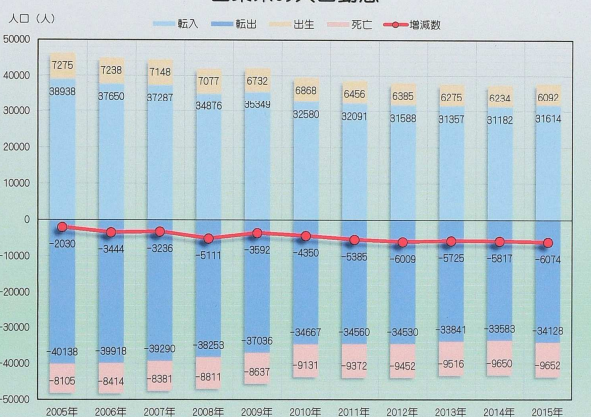


③
世代別にも調べてみた

2005年から2010年頃をピークに、緩やかな減少傾向に入り、減少率も増加傾向にある。日本は、出生数よりも死亡数が多く継続していく時期、人口減少社会に突入したのだ。

総務省統計局 日本の統計2016より

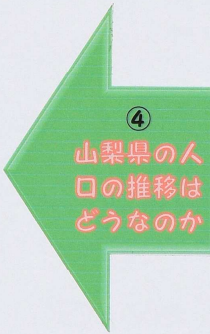
山梨県の人口動態



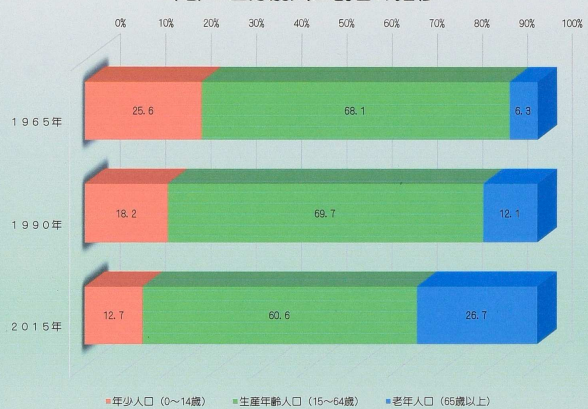
⑤
小中学生を詳しく見てみる

山梨県の人口も減少傾向にあり、近年では毎年5千人程度の人口減が続いている。最新のデータでは6千人を超えるマイナスとなっており、このまま放置すれば、将来は60万人台、あるいは50万人台になるとの推計もある。

やまなしの統計 平成27年度山梨県常住人口調査結果より



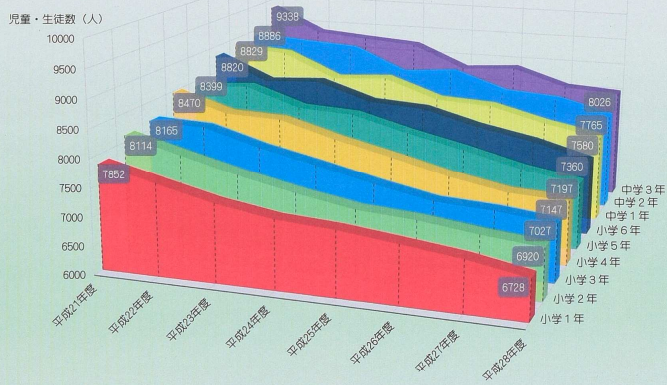
年齢3区分別人口割合の推移



老年人口だけが急激に増え、世界でも類を見ない速度で少子高齢化が進んでいる。出生率の低下や平均寿命の延びにより、今世紀の半ば頃まで、総人口は減るが高齢者は増えるという状態が続くと予想されている。

総務省統計局 日本の統計2016より

山梨県の児童・生徒数の推移



やまなしの統計 平成28年度学校基本調査結果より

最新の調査によると、中学生は9年連続の減少、小学生は36年連続の減少となり、いずれも統計調査が始まった1948年度以来の最少を更新した。グラフを見ると、低い学年ほど人口が少なくなることがよく判る。

⑥
人口減少を食い止めるためには

山梨県の人口減少の流れをストップし、人口動態をプラスマイナスゼロの状態にするためには、なにより地域の活性化が不可欠である。そのためには、魅力的な産業や企業づくりを進め、雇用を増やすことが必要だ。また、若い世代が安心して結婚、子育てをすることができ環境づくりが大切だと思う。